

ハーティーちゃんの地元自慢コラム

IMOTO IMAN COLUMN

New



VOL.1 酒蔵編①(50音順)

ルポライターのハーティーちゃんが地元の誇れる個人・法人会員の方を訪ねインタビュー…皆様に紹介する新コーナーです。シリーズ第1弾は“酒蔵編”。地産品の代表格ともいえる「灘の清酒」のふるさと「☆灘五郷」の中から、管内に属する魚崎郷、御影郷の酒蔵をめぐる。

日本酒で乾杯!

泉酒造 株式会社

代表取締役 西野 信也氏
東灘区御影塚町1-9-6



取材に応じる取締役 西野 藍さん

宝暦年間(1756年)初代泉仙介が有馬郡道場村にて創業。三代目仙介の時に現在の御影に製造所を移します。その後も大切な文化ともいえる歴史と伝統を受け

継いでこられました。阪神大震災により蔵の大部分を焼失。それから12年の年月を経て、平成19年に蔵を再建し、並々ならぬ努力と情熱で、失ってはならない歴史と伝統に再び命を注ぎ込んだ現在の泉酒造。そこから生まれる酒には魂ともいえる魅力的な力が湧き出ています。

代々襲名してきた「仙介」という名前を再建後自らのブランドとして製造。取締役の“西野 藍”さん曰く、「神戸という舞台上、守るべきものや、思い・志を確かに継承し、残していくうえで、また新たに現代という時代にあった魅力的な酒を生み出していきたい。」とのこと。



また、「型に捉われることなく、是非自分流に酒を楽しんでください♪もちろん女性にもオススメです。炭酸や水などで割って、自分スタイルに飲むのもイイですよ♪」と最後に一言。歴史の重みと大切さを改めて見つめ直すのと同時に、どこか今まで頭の中にあった“酒”の固定概念がとりはらわれて、スッキリした気分のハーティーちゃんと取材班でした!

【URL : <http://www.izumisuzou.co.jp/>】

有限会社 泉勇之介商店

代表取締役 泉 勇之介氏
東灘区御影塚町1-2-7

初代勇之介が明治初期に蔵元の姓“泉”と地元“灘”にちなんで“灘泉”を創業。現在の“灘泉”の銘柄は、昭和27年より使用しています。

阪神大震災の打撃は受けましたが、どうにか蔵の原型は持ちこたえることができた為、現在では数少ない木造蔵としても貴重な勇之介商店。こだわり抜いた伝統と歴史を受け継ぎ、変化し続ける現代社会にも親しまれる酒造りに、取締役“泉 勇之介”自らが醸造。



取材時に醸造場内を見学させて頂きました。どこか神聖な趣をもかもし出す“蔵”には、言葉では表現できない何とも言いようのない歴史と文化を肌で感じることができました。



代表取締役 泉 勇之介さん

現在、蔵の2階部分を多目的貸しホール(4月~10月)として一般へ

提供されています。是非、全国に誇る灘の酒の歴史と伝統の雰囲気を実際に体験されてみては如何でしょうか。また、贈答品やプレゼント用として、灘泉のラベルに写真やイラスト、感謝の言葉などを飾ってオリジナルラベルを作成し、特別な祝い酒も注文できます。詳しくはHPを!

【URL : <http://www.nadaizumi.co.jp/>】

(取材・文 古川広報委員)
(イラスト 高永広報委員)



TOKU² ハーティー 《知っとく!・なっとく!》

☆灘五郷(なだごごう)?…兵庫県神戸市東灘区の魚崎郷・御影郷・灘区の西郷・西宮市の今津郷・西宮郷の五つを指す酒造地の称。酒造りに適した上質の水(宮水)・播州米(山田錦)と、醸造の技術・気候風土(六甲おろし)のすべてにおいて恵まれた条件を備え、製品の水上輸送にも便利な港があったことから、日本酒の名産地として栄え、現在でも日本一の酒造業地帯となっています。

仕込みの時期には新酒の香りが漂い、それが環境省のかおり100選にも選ばれました。